

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細表

①錠セット

名 称	員 数		
	両 錠		片錠
	内開き	外開き	内開き
両錠本体	1	1	—
片錠本体	—	—	1
ヒンジ(上)	2	2	1
ヒンジ(下)	2	2	1
ヒンジカバー	4	4	2
ヒンジ裏板	4	4	2
ヒンジキャップ	4	4	2
スペーサー	—	—	1
シリンダーキー	3	3	3
フロントカバーA	1	1	—
フロントカバーB	—	—	1
ストライクA	1	—	1
ストライクB	—	1	—
戸当りA	—	—	1
落とし棒ホルダー(ロック付)	1	1	—
落とし棒受け	1	1	—
ストライクD用受座	—	—	1

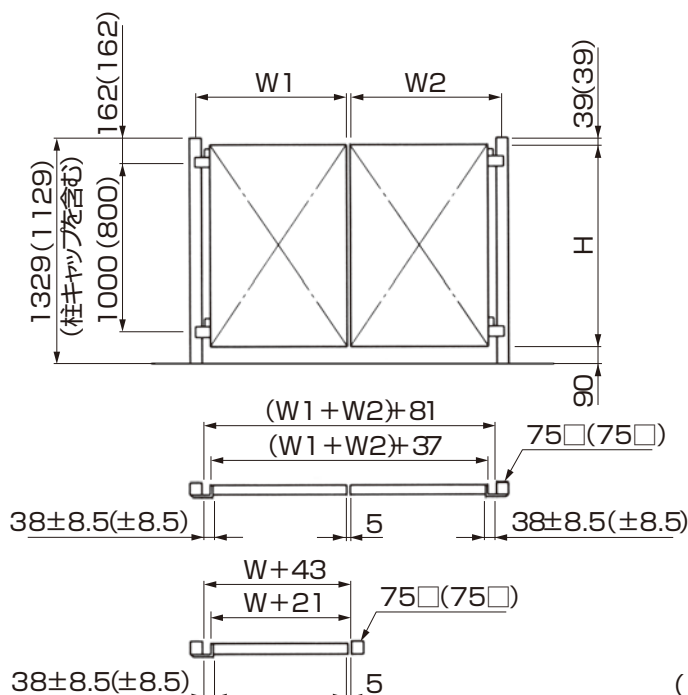
名 称	員 数		
	両 錠		片錠
	内開き	外開き	内開き
ネジ	16	16	8
ヒンジ取付ネジ M4×10トラス	—	—	—
戸当り取付ネジ M4×14トラス	4	4	—
戸当りA取付ネジ M4×6サラ	—	—	4
ストライクB取付ネジ M4×6サラ(D=6)	—	4	—
落とし棒ホルダー取付ネジ M4×8トラス	2	2	—
取付説明書	1	1	1
取扱説明書	1	1	1

②片錠・外開き部品セット(70角用 100角用)

名 称	員 数
ストライクD(E)	1
片外開き戸当り	1
ストライクガイド	1
裏板	1
ストライク取付ネジ M4×10サラ	2
戸当り取付ネジ M5×14トラス	2
ストライクガイド取付ネジ M4×6サラ	2

1. 施工寸法

1-1 両開き・片開き(内開き)



2. 勝手の変更

2-1 ラッチ、レバーハンドル、ラッチ錠ボックスの勝手変更

<注意>

- 本セットは、右勝手内開き用になっています。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、下記の勝手変更方法に従って、ラッチ錠・レバーハンドルの勝手を変更してください。

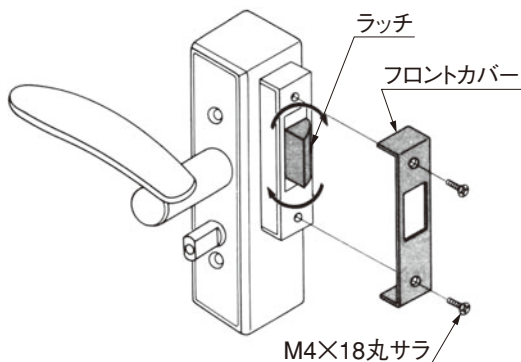


図2-1 ラッチの変更

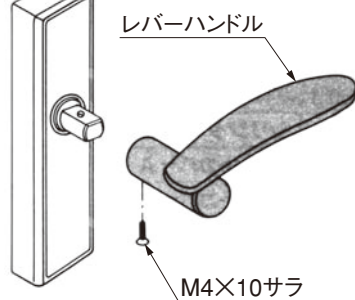


図2-2 レバーハンドルの変更

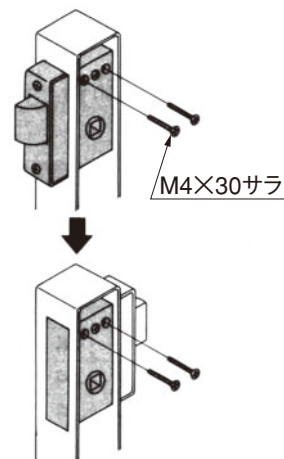
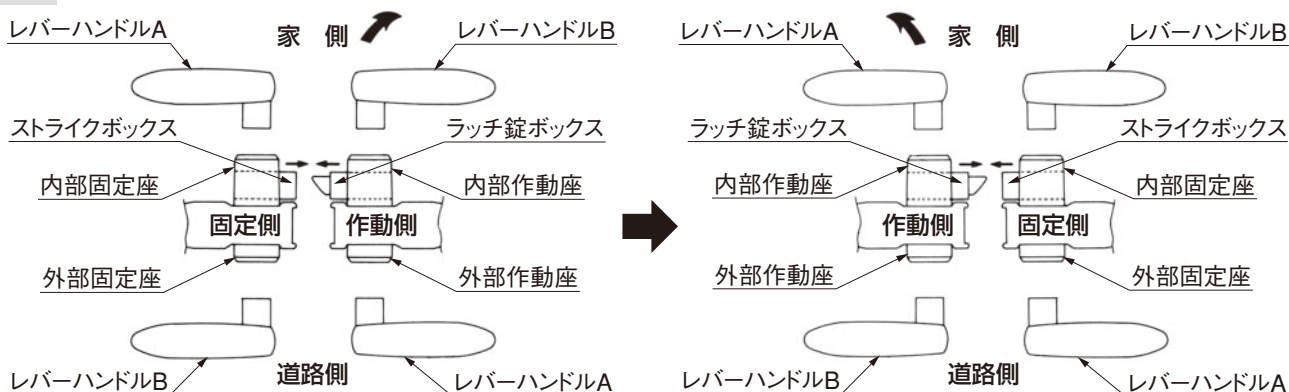


図2-3 ラッチ錠ボックスの変更

- ① フロントカバーをはずし、ラッチを回転させてから再度ネジにて取付けてください。(図2-1参照)

2-2 右勝手内開きから左勝手内開きへの変更



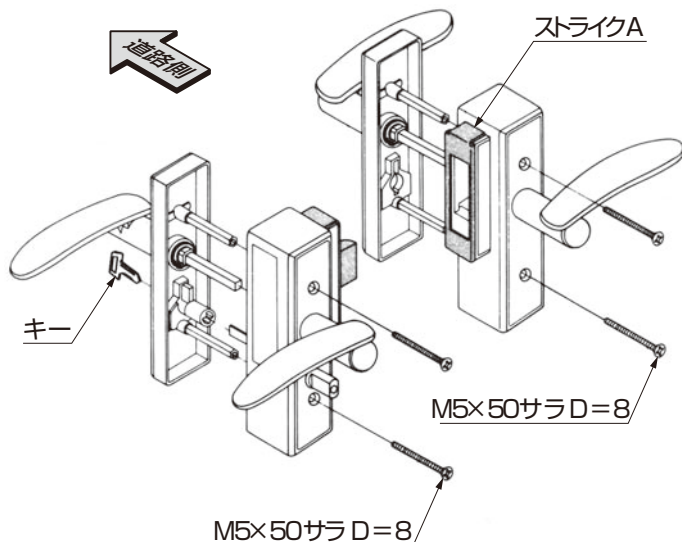
勝手変更方法 下の表に従って、勝手を変更してください。

扉の勝手 (図は扉を上から見た図です)	勝手変更
右勝手内開き 	勝手変更不要。 そのまま取付けてください。
右勝手外開き 	上記A図に従って、 勝手を変更してください。
左勝手内開き 	上記A図・B図・C図に従って、 勝手を変更してください。
左勝手外開き 	上記B図・C図に従って、 勝手を変更してください。

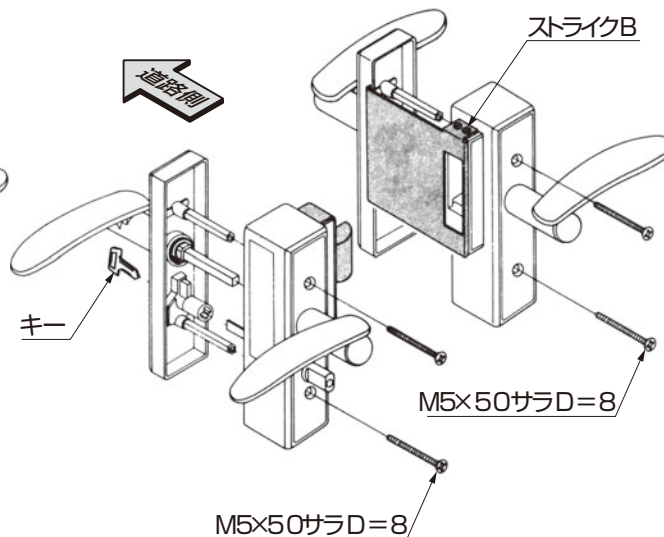
3. 錠の取付け

3-1 両開き

(1) 内開き

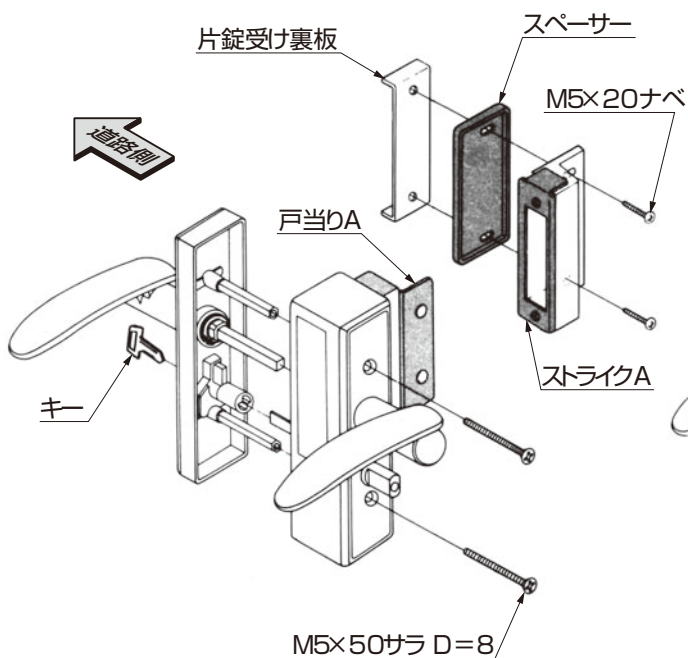


(2) 外開き

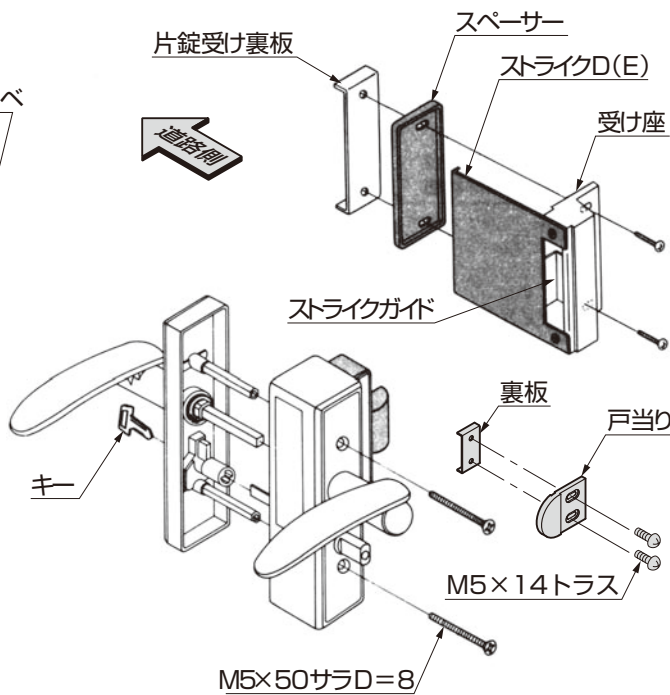


3-2 片開き

(1) 内開き

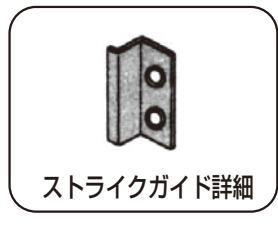


(2) 外開き

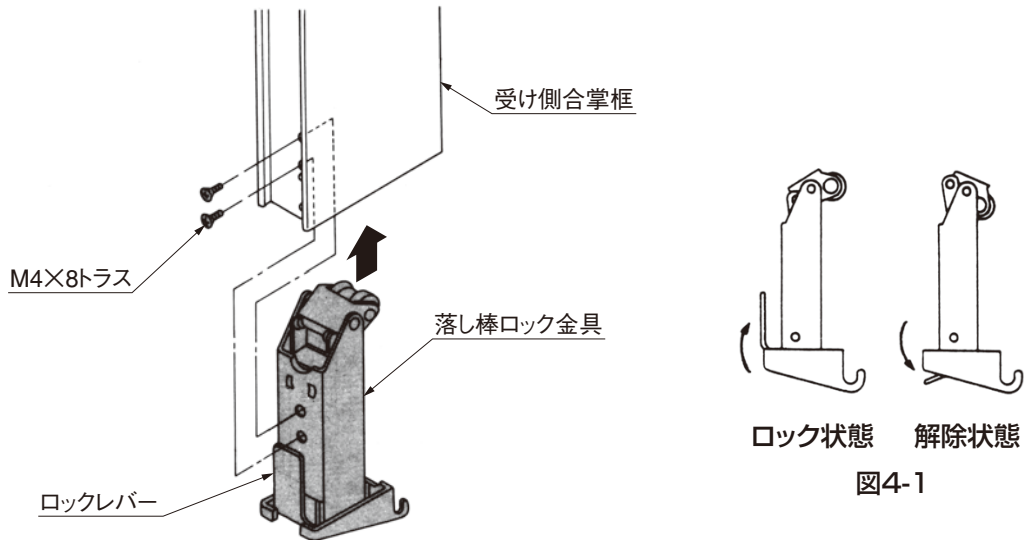


<注意>

- 戸当り、受け座は受け門柱に取付けてください。



4. 落とし棒ロック金具の取付け



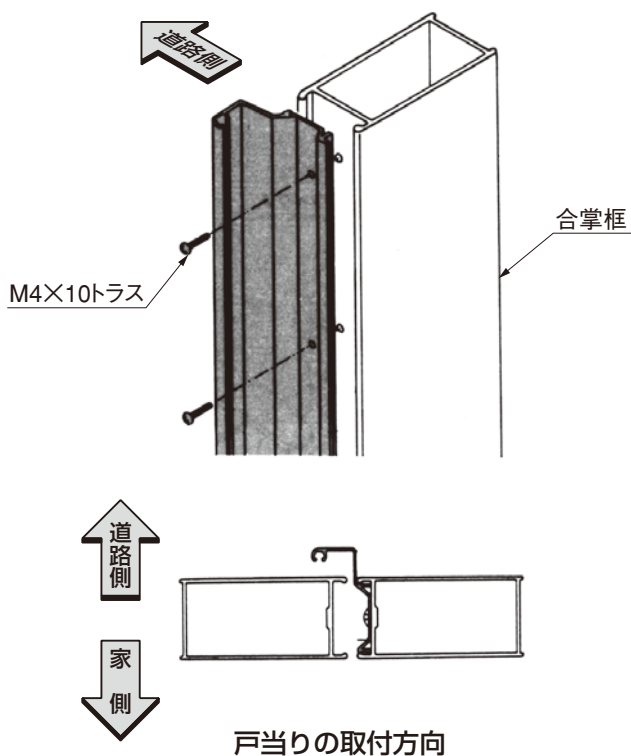
- ① 落とし棒ロック金具を図4-1のロック状態にし、門扉合掌框の下方より挿入してください。
- ② 落とし棒ロック金具のロックレバーを下げ、図4-1の解除状態にし、M4×8トラスネジで固定してください。

<注 意>

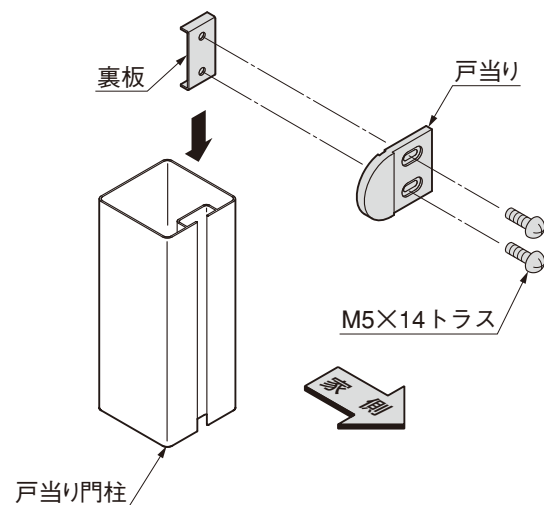
- 落とし棒を下方よりセットし、図4-1の操作により落とし棒がロックされる事を確認してください。

5. 戸当りの取付け

5-1 両錠の場合



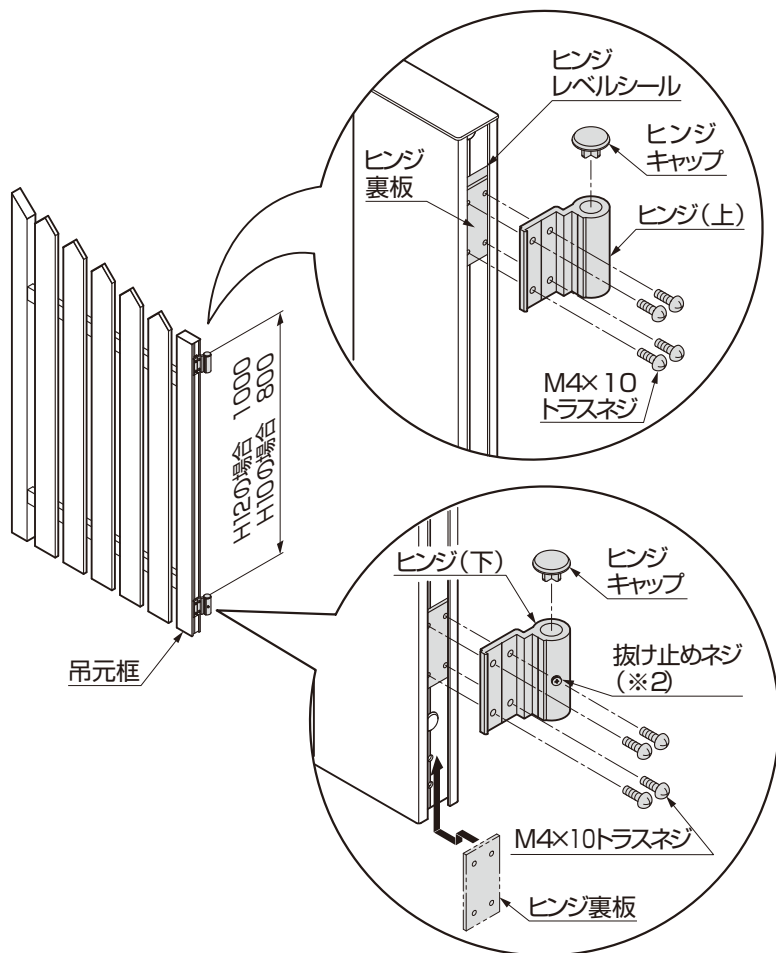
5-2 片錠・外開きの場合



<注 意>

- 片錠・外開きの場合、本体に戸当りは付きません。

6. ヒンジの取付け



- ① ヒンジ裏板を吊元枠下端からスライドさせて、ヒンジを図に示す位置にM4×10トラスネジで固定し、ヒンジキャップを取付けてください。

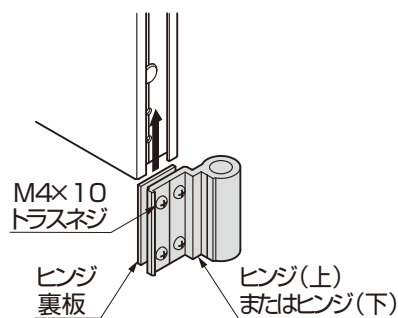


図6-1

<注 意>

- ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。(※2)
- 折戸仕様の場合は、抜け止めネジは使用しませんので取外してください。
- あらかじめヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元枠にスライドさせると簡単です。(図6-1参照)
- ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。(図6-2参照)

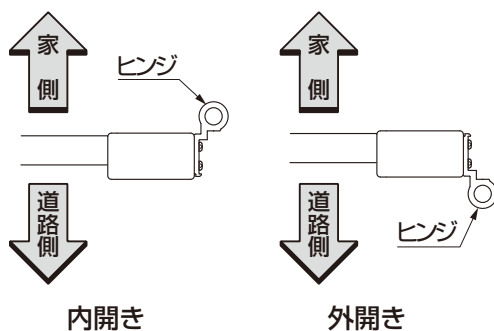
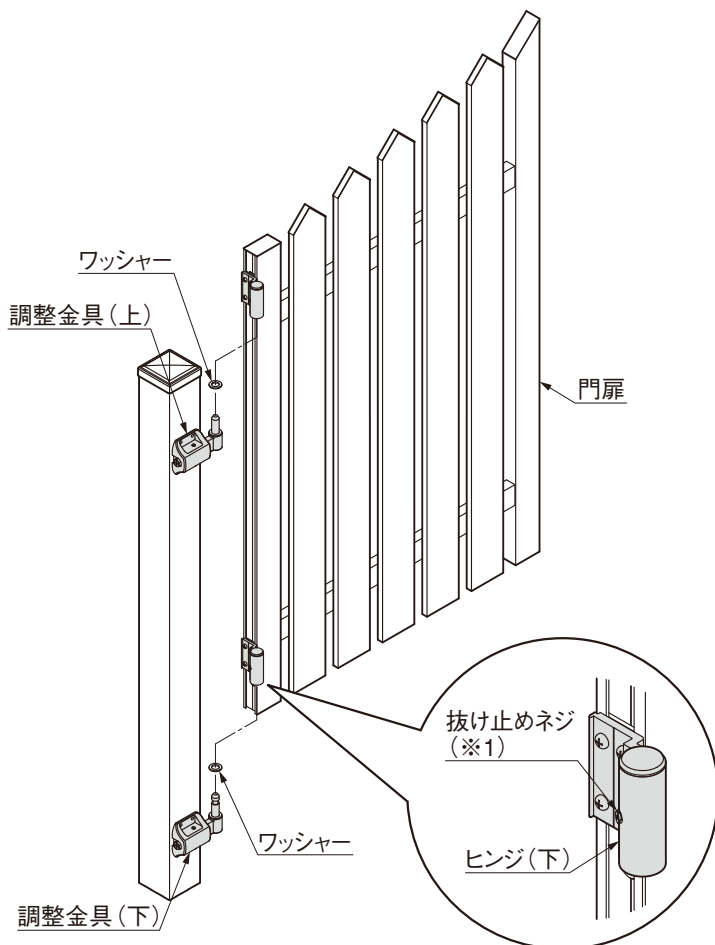


図6-2 ヒンジ取付方向

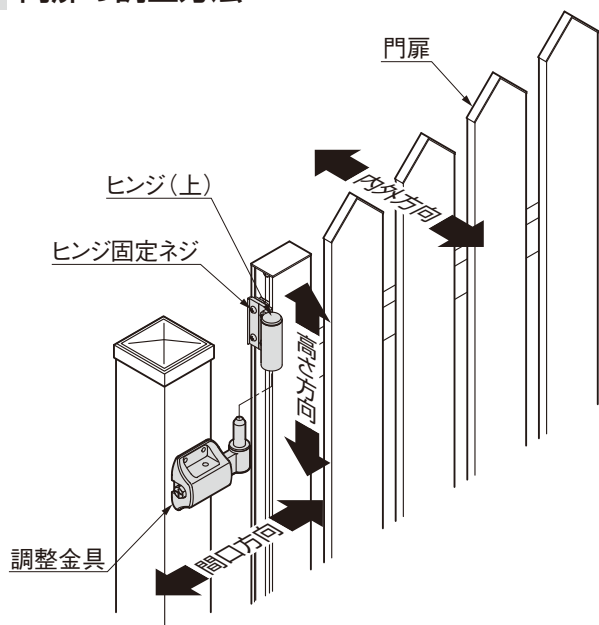
7. 門扉の吊り込み



- ❶ ヒンジ(下)の抜止めネジをゆるめてください。(※1)
- ❷ 門柱に同梱のワッシャーを、調整金具シャフトに取り付けてください。
- ❸ 調整金具シャフトにヒンジ(上), ヒンジ(下)を差込み、門扉を吊り込んでください。
- ❹ ヒンジ(下)の抜止めネジをしめこんでください。

8. 門扉の調整

8-1 門扉の調整方法



- ❶ 高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。
- <注 意>
- 門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。
- ❷ 間口方向および内外方向の調整方法は、「8-2 調整金具の調整方法」により調整金具で調整してください。
- <注 意>
- 錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。

8-2 調整金具の調整方法

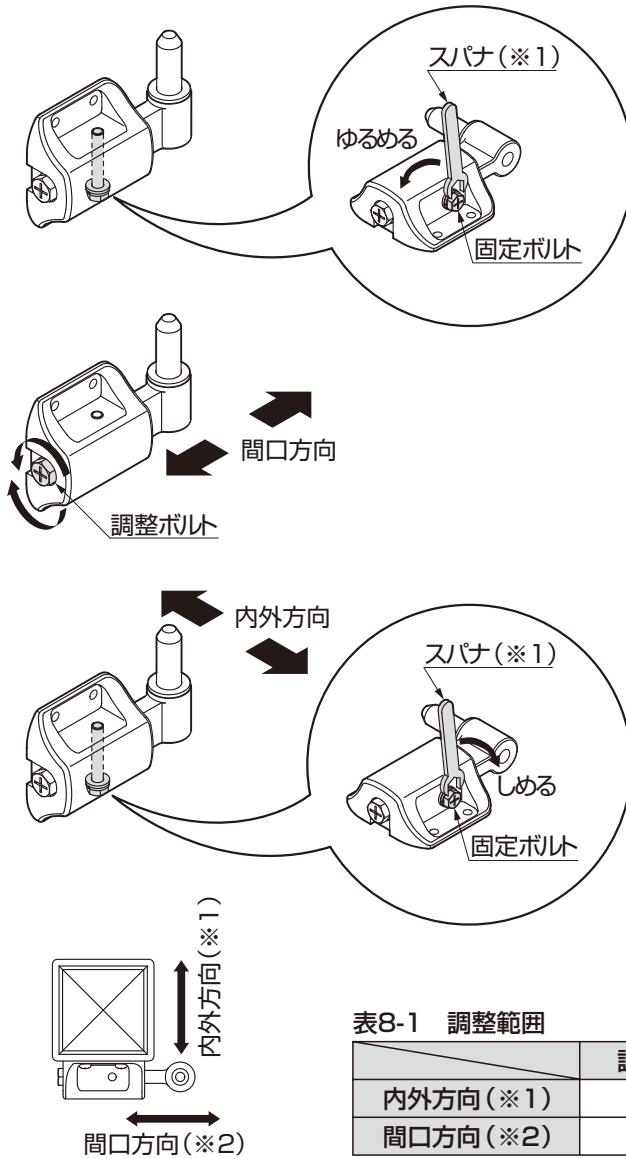


表8-1 調整範囲

	調整金具H	調整金具J
内外方向(※1)	±4.5mm	±7.5mm
間口方向(※2)	±8.5mm	±8.5mm

① 固定ボルトをゆるめてください。

<注意>

- 固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと固定ボルトが破損します。必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

② 調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

<注意>

- 両開きの場合、合掌框と合掌框のチリ寸法は 5 ± 1 mmに調整してください。(図8-1参照)
- 片開きの場合、合掌框と受け門柱のチリ寸法は 5 ± 1 mmに調整してください。(図8-2参照)

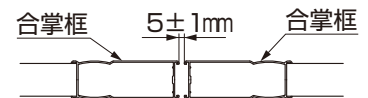


図8-1

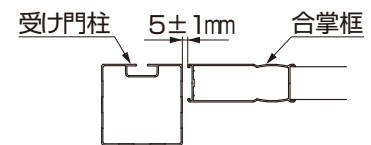
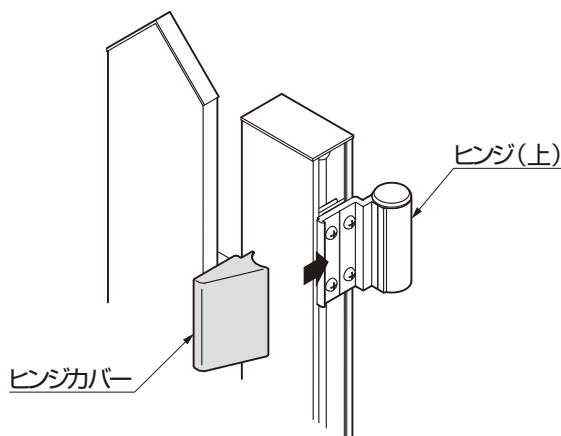


図8-2

③ 内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

9. ヒンジカバーの取付け



① ヒンジ(上)およびヒンジ(下)に、ヒンジカバーをはめ込んでください。

<注意>

- ヒンジカバー内側の突起がパチンと入るまで挿入します。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。